

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたって、市長をはじめとする執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すものです。

今回の定例会では15名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問に対する答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

## 地元大学生と市民との交流

市政クラブ 佐古 一夫

**質問** 建設中の駅前や本町の複合ビル内に市民と地元4大生が交流するブースを設けてはどうか。

**答弁** 街なかに大学生が集うことができるスペースがあると、市民や学生同士の交流のほか、地域活動の活性化が期待でき、街全体の活気にもつながると思われるので、市内8高等教育機関等で構成するキャンパスコンソーシアム函館が実施する様々な事業の実施に当たっては、本町地区の複合ビル内に整備予定の市民交流プラザの多目的スペースを有効に活用してまいりたい。

(企画部長)

## 公共施設等総合管理計画策定要請(総務省通知)の影響

民主・市民ネット 道畑 克雄

**質問** 国からの計画策定要請により、現在、当市で取り組みを進めている「公共施設のあり方」に影響は出ないのか。

**答弁** 本年3月策定の「公共施設のあり方」に関する基本方針に基づく「各施設の今後の方向性」について「の対象29施設は、それぞれの評価毎に取り組みを進めていくこととしている。

なお、作業に当たっては、国から通知のあった総合管理計画の趣旨を踏まえた取り組みを進めていくこととしており、影響はないものと考えている。(財務部長)

## 函館駅前市有地の整備

市民クラブ 井田 範行

**質問** 市長の函館駅前市有地の整備に対する取り組み姿勢、基本フレームについて、お聞きしたい。

**答弁** 当該市有地は、函館駅前・大門地区のにぎわいを創出する事業に活用するというのが私の考え方である。今回はたまたま建設費の高騰によって計画中止となった。早急はこの土地の活用方法を決めたい気持ちはあるが、拙速に、妥協した形でやるつもりはない。慎重に、駅前全体に波及効果の出る事業を選択、誘致していきたい。(市長)

(市長)

## 公衆浴場対策

公明党 松宮 健治

**質問** 市内の公衆浴場が減少している現状において、その利用に不便をきたしている住民に対する方策について、どのように考えているか。

**答弁** 入浴が困難になっている方に対する施策としては、市営住宅五稜郭改良団地に共同浴場を設置した事例や、デイサービスセンターを経営している法人が地域住民に浴室を開放している事例があり、今後においても、地域の要望を踏まえ、社会福祉施設などの開放について、個別に協議、対応させていただきたいと考えている。(保健福祉部長)

## 大間原発提訴後の他自治体からの行政調査

日本共産党 紺谷 克孝

**質問** 大間原発提訴後、原発周辺自治体から本市への行政調査があったと聞いているが、件数や具体的内容を聞きたい。

**答弁** 5月7日、鳥根原発30km圏内に含まれる鳥取県の県議会の一党派の訪問があり、訴訟に至った経過や鳥取県にも本市と同様に避難計画が義務づけられるが、発言権が与えられていないといった話など、意見交換を行った。

現時点においては、このほか4件、議会の視察が予定されている。(総務部長)

## 石川稜北土地画整理事業

市政クラブ 北原 善通

**質問** この事業は頓挫させるわけにはいかないので、市として、これまで以上に組合を指導・監督していく責任があるのではないかと。

**答弁** 当該事業は、多くの組合員の発意により、地域のまちづくりを進めていこうとして始められた事業である。市としては、組合との連携をより密にし、組合の業務や工事の発注から完成に至るまでの技術的な指導に努めるなど、組合運営におけるチェック機能強化により、適切な事業運営が図られるよう出来る限り支援してまいりたい。(都市建設部長)

## 津波避難ビル等における鍵の管理と解錠

民主・市民ネット 見付 宗弥

**質問** 休日等に施錠され無人となるため、災害時に解錠が必要となる津波避難ビル等に、震度感知器式キーボックスの設置などの対策が必要ではないか。

**答弁** 学校等の避難所は、施設管理者が解錠することとなっているが、夜間・休日については、迅速に避難所の開設を行うため、近隣に住む方の協力を頂きながら解錠する手法について検討を行っている。避難所のあり方も改めて検討することとしているので、そうしたことも含め、検討してまいりたい。(総務部長)

(総務部長)

## 同志社大学の東北での医学部建設断念

市民クラブ 工藤 篤

**質問** 「同志社理事長は、『申請は断念するが、医学教育の可能性は引き続き検討する』と、京都での医学部設置の検討に含みを残した一旨の記事を読み、どう思ったか。

**答弁** 同志社大学は、創立者、新島襄の医学部設置ということに強い意欲を持っており、感じました。京都での設置に含みとは、生命医科学部新設、キャンパス再編、医工連携など進めていることも含めてのものだと理解している。同志社では、学内に検討部会を継続設置となっているので、引き続き、情報交換していきたい。(企画部長)

## 防火準防火地域の指定の見直し

公明党 小林 芳幸

**質問** 住居系の用途地域に準防火地域が指定されていることが、既成市街地への居住促進の阻害要因の一つと考えるが、見直し等の考えはないか。

**答弁** 防火・準防火地域は市街地での火災の危険を排除する目的で指定するものだが、その多くは指定から50年以上経過しており、指定範囲の見直しの必要性を判断するための基礎調査を行う時期にある。木造建築物の防火性能の現況調査や火災延焼シミュレーション等による地域の防災性の評価を行う予定であり、現在準備を進めている。

(都市建設部長)